

バイオテクノロジー研究会

バイオテクノロジー研究会全体

1, 2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回部会開催(1/25); 2011年度の活動計画検討</li> <li>・ILSI本部総会に部会長が出席</li> <li>・第9回栄養とエイジング国際会議プログラム委員会(11/24)に部会長が出席</li> </ul>
3, 4月	
5, 6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回「栄養とエイジング」国際会議のバイオ部会プログラムとしてモンサント社からの講演者決定。テーマは、遺伝子組換え機能性大豆。</li> <li>・6月17日: ホームページ利用に関する、部会長、ホームページ作成者、事務局担当との打ち合わせ。</li> </ul>
7, 8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回部会開催(7/7)環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(ニュースレター、Web情報)の作業の流れ、微生物分科会の再生、官庁との交流の活性化につき討議</li> <li>・第6回「栄養とエイジング」国際会議のバイオテクノロジー研究会としてのポスター発表原稿提出。</li> <li>・8月10日: 環境リスク評価に関する専門家を対象にしたニュースレターの作成に関して林健一氏との契約締結。</li> <li>・韓国で開催予定のILSI CERAワークショップについての農水省との打ち合わせ。</li> <li>・筑波大 小口教授に原稿査読の契約書作成・送付。</li> </ul>
9, 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回部会開催(9/12)環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(ニュースレター、Web情報)発信に向けての最終確認。</li> <li>・第6回「栄養とエイジング」国際会議のILSI Japan30周年記念シンポジウムにバイオテクノロジー研究会としてのポスター発表および部会からの講演者1名(Dr. Richard S. Wilkes モンサントUS)が発表(9/28~30)。</li> <li>・韓国で開催予定のILSI CERAワークショップについての準備作業。</li> <li>・第6回「栄養とエイジング」国際会議の最終会議に出席(10/20、橋本部会長)</li> </ul>
11, 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回部会開催(12/12)2011年度活動報告および2012活動計画の確認。環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(報告、Web情報)発信に向けての勉強会。</li> <li>・ILSI CERA 日韓シンポジウム開催(ソウル; 11/18)。</li> <li>・農林水産省の技術安全課へ上記シンポジウムの概要報告および消費安全課にご発表参加御礼</li> <li>・ERAプロジェクト調査報告(December 2011)発行</li> </ul>

## 【植物研究部会】

1, 2月	
3, 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回部会開催(4/19) 2011年度の活動として、環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(ニュースレター、Web情報)、Q &amp; A、用語集の作成を検討することが合意された。</li> <li>・第6回「栄養とエイジング」国際会議のバイオ部会プログラムとしてモンサント社から、話題提供していただけることに決定。テーマは、遺伝子組換え機能性大豆。</li> </ul>
5, 6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回部会開催(5/30) 2011年度の活動として、環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(ニュースレター、Web情報)、Q &amp; A、用語集の作成につき討議。</li> </ul>
7, 8月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
9, 10月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複。
11, 12月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複。

## \*環境リスク評価分科会

1, 2月	
3, 4月	
5, 6月	6月23日：部会長、幹事、事務局コーディネーターとILSI Japan 事務局長、経理担当事務局次長、CBIJ 事務局長(新・旧)との会合。環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(ニュースレター、Web情報)の進め方、詳細につきCBIJ側から説明および質疑応答。ほぼ、概要が決まる。予算面の確定を早急に決める予定。
7, 8月	部会長、幹事、事務局コーディネーターとILSI Japan 事務局長、CBIJ 事務局長との会合。環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(ニュースレター、Web情報)の進め方、詳細につき討議。事業費予算案を提示。
9, 10月	部会長、幹事、事務局コーディネーターとILSI Japan 事務局長、との会合。環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(ニュースレター、Web情報)の進め方、詳細につき討議。事業費予算案を再提出。
11, 12月	<p>ILSI CERA 日韓シンポジウム開催(ソウル; 11/18)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産省の技術安全課へ上記シンポジウムの概要報告および消費安全課にご発表参加御礼</li> <li>・ERA プロジェクト調査報告(December 2011) 発行</li> <li>・環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(報告、Web情報)発信に向けての勉強会。</li> </ul>

## \*アレルギー性タンパク質の分析方法分科会

1, 2月	
3, 4月	
5, 6月	
7, 8月	
9, 10月	HESI の Dr. Greg Ladics の講演「アレルギー誘発性に関する新知見。CLI がまとめた熱安定性とおよびバイオインフォーマティクス報告書の紹介」を第6回バイオ部会開催に合わせて実施(9/6)。
11, 12月	イルシー誌への寄稿作業中(発表された Bioinformatics および Heat stability 論文の記事)。

**\*組換え体検知法分科会**

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	ISO 総会に向けての対応会議 (FAMIC 主催) に出席して意見提供 (10/11、布藤、末木)
11, 12 月	ISO 総会報告 (第 7 回部会内)